

大里地区赤十字奉仕団合同研修

大里地域内3奉仕団（熊谷市・深谷市・寄居町）では、平時から合同で炊き出し訓練を実施しております。

そこで、平成25年7月4日（木）に3奉仕団合同研修として、東日本大震災により甚大な被害に遭った茨城県北茨城市で活動する赤十字奉仕団との情報交換会を実施しました。

当日は、大里地区から熊谷市赤十字奉仕団員14名、深谷市赤十字奉仕団員13名、寄居町赤十字奉仕団員14名、事務局3名の44名が参加し、北茨城市からは遊座副地区長をはじめ16名の赤十字奉仕団員の方に参加いただきました。

情報交換会では、大震災直後の様子や奉仕団としての活動についての発表があり、災害時に必要なアドバイスもいただきました。



昼食時も様々な話で盛り上がり、顔の見えるつながりができ奉仕団員同士の草の根交流のきっかけづくりになりました。

北茨城市の物産館では、北茨城市赤十字奉仕団の方にアドバイスをいただきながら、たくさんの海産物などを買わせていただきました。

今後、北茨城市とは各市町毎に交流を続けていくことを確認し北茨城市を後にしました。



第17回人形のまち岩槻「朝顔市」へ参加しました

梅雨明けの猛暑日の中開催された、さいたま市岩槻区「朝顔市」に岩槻区赤十字奉仕団として参加しました。

会場では、岩槻区の「のぼり旗」を立てながら、日赤リーフレットやポケットティッシュを配布し赤十字の広報活動と義援金募集を行いました。

朝顔市に訪れた人々に声をかけてご協力をお願いしていると「毎年、ご苦労さまですね」と励ましの言葉をいただきとても嬉しかったです。

私たちの活動も地域の人たちに認められているのかなと思う一日でした。

これからも、地域の人たちと共に岩槻区赤十字奉仕団の活動を続けていきたいと思ひます。



被災者の方たちへ炊き出しを行いました

台風18号が上陸した9月16日（月）に熊谷市妻沼中央公民館に開設された避難所において、熊谷市赤十字奉仕団員7名が集まり炊き出しを行いました。

天候の悪い中、9時30分に妻沼中央公民館に集まり、公民館内の調理室を使用し、避難所に避難していた被災者30名のほか、消防・警察関係者など70名に対し、おにぎり、カレー、おしんこ、煮物などの炊き出しを行いました。



今回の炊き出しの材料については、市役所からのアルファ米以外は、すべて調理を行った奉仕団員の方々が避難所に持参した材料で調理いたしました。

このような時に自分の出来る範囲で、少しでも皆さんのお役に立てればと炊き出しを行いました。皆さんのお力になれたならばよかった。との気持ちを胸に避難所を後にしました。